

劇団
三毛猫座

劇団三毛猫座 第八回本公演
KACパートナーシッププログラム 2025採択事業

原作
ルイス・キャロル作 (1865)
『不思議の国のアリス』

不思議の国のアリス

2026.1.9(金)-1.12(月祝)
京都芸術センター フリースペース
一般 3500円 / U25 2000円 / 中高生 1500円 / 小学生 1000円
(当日は前売り+500円)
★1/10(土) お子様歓迎デーのみ、未就学児入場可(無料)



ある昼下がりの午後、アリスは退屈していた。

土手の上で本を読んでいる姉の隣に座っていても、なにもやることがないのだ。そこへ、チョッキを着た、喋るウサギが通りかかる。ウサギを追いかけてアリスは、深い穴の中に落ちてしまう。落ちた先は、全てが奇妙でへんてこりんな《不思議の国》。身体が伸びたり縮んだり、涙の池で溺れそうになったり、馬鹿げたお茶会に巻き込まれたり……。何もかもがおかしい世界の中で、アリスは、ドアの向こうに見た《美しい庭》を目指して進んでいく。ドードー鳥、チェシャ猫、帽子屋をはじめ、侯爵夫人に料理人、ハートの女王やジャック、はたまた、トカゲのビル、グリフォン、海ガメもどきなど——様々な動物や人と出会い別れながら、アリスは奇想天外な冒険を繰り広げていく。

原作 「不思議の国のアリス」 ルイス・キャロル作 (1865)
詩の引用 「不思議の国のアリス」 ルイス・キャロル作 / 河合祥一郎翻訳 (KADOKAWA・2010)

Cast

大塚啓 (劇団三毛猫座) 宮本結妃 (劇団三毛猫座)

小野下未来 鈴木響

藤原美保 (ソノノチ) やまちゅう

アンダースタディ 海椰 (劇団三毛猫座)

Schedule

(上演時間:120分を予定)

1/9 (金)	1/10 (土)	1/11 (日)	1/12 (月祝)
17:30 開場 18:00 開演	13:00 開場 13:30 開演	13:00 開場 13:30 開演	13:00 開場 13:30 開演
アフタートーク neco (演出) 永久 (脚本)	お子様 歓迎デー	アフタートーク 出演者	アフタートーク 副産物産店

Ticket

(当日は前売り+500円)

一般	3500円
U25	2000円
中高生	1500円
小学生	1000円

★ 1/10(土)お子様歓迎デーのみ
未就学児入場可(無料)

お子様 歓迎デー

- ☐ 未就学児入場可(無料)
- ☐ 客席の電気を消さずに公演を行います。(真っ暗になりません)
- ☐ 客席内の移動OK
- ☐ 声出しOK
- ☐ 上演は通常通りの上演時間でいきます。
- ☐ 大人のみでの観劇も可能です。

以上の条件で上演が行われることを
あらかじめご了承のうえ、ご来場ください。



◀ チケットのご予約はこちら
<https://mikenecoza.peatix.com/events>

Access



京都芸術センター フリースペース

〒604-8156
京都府京都市中京区空町通錦雲師下る
山伏山町546-2

地下鉄烏丸線「四条駅」
22・24番出口より徒歩5分。

阪急京都線「烏丸駅」
22・24 番出口より徒歩5分。

地下鉄東西線「烏丸御池駅」
4番出口より徒歩10分。

「こころではみんなへんてこりんなのさ」

京都を拠点に活動をする劇団三毛猫座の新作は、ルイス・キャロル原作「不思議の国のアリス」の全編上演。

俳優6人で30を超えるキャラクターを演じ分ける本作では、ルイス・キャロルによるナンセンスで噛み合わない会話と、パロディ・言葉遊びが存分に織り込まれた詩が混ざり合いながら、物語が紡がれていきます。俳優は役(アイデンティティ)を、言葉は詩とセリフを行き来し、“こうあるべきもの”が崩れていくことで、観客を混沌の世界へ誘います。

本作で舞台美術の制作に迎えるのはアートプロジェクト副産物産店。アーティストのアトリエから出る魅力的な廃材=“副産物”による舞台美術もまた、廃材というアイデンティティをスライドし、舞台美術として立ち上がります。

劇団三毛猫座×副産物産店による、madでchaosな「不思議の国のアリス」をどうぞお楽しみに！



副産物産店《ソノアイダ#有楽町》2020



劇団三毛猫座
《海のまぼろし | 奥能登国際芸術祭2023》
2023 photo:中谷利明

副産物産店

2017年に山田毅(只本屋)と矢津吉隆(kumagusuku)の二人の“店”を表現媒体とする美術家によって結成されたアートユニットでありアートプロジェクト。アーティストのアトリエから出る廃材を“副産物”と呼び、それらを活用・流通させるなかで、物の価値を問い直す活動を展開。展覧会やイベント出店、ワークショップのほかに、大学や行政、企業と連携した資材循環の仕組みづくりを行なっている。

劇団三毛猫座

主宰necoを中心に、京都市立芸術大学の学生で立ち上げ。2015年に活動を開始。現在の劇団員は全員女性。「見えないものを想像する」をテーマに、舞台作品を制作する。演劇作品だけでなく、朗読劇や、詩的テキストを用いたパフォーマンス作品も発表。近年は、舞台芸術以外のアーティストとのコラボレーションも積極的に行う。京都を拠点に活動中。

演出 neco (劇団三毛猫座)
脚本 永久 (劇団三毛猫座)

舞台美術 副産物産店

舞台監督 長峯巧弥 (合同会社minestage)
照明 渡辺佳奈、木内ひとみ
音響 林実菜
衣装 山下彩
衣装補佐 伊達七実
ヘアメイク 橋爪佑莉
広報デザイン 後藤多美

制作 波多野円香、渡邊裕史 (ソノノチ)
海椰 (劇団三毛猫座)、綾乃 (劇団三毛猫座)

主催 劇団三毛猫座
共催 京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)
協力 ノートルダム女学院中学高等学校、合同会社nochi

芸術文化振興基金 助成事業
アーツサポート関西 助成事業
京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業

